

「JR守山駅東口全体の在り方検討」を踏まえての 新都賀山荘の建設場所について

商工観光課 ☎・宿(582)1131 FAX(582)1166
地域振興課 ☎(582)1165 FAX(582)1166

JR守山駅東口における新施設整備などに関する進捗状況については、「JR守山駅東口全体の在り方検討」において、人・車などの交通量調査やロータリーの在り方について検討を行う中で、複数案をベースに土地所有者であるJR貨物と協議を重ねてきました。

とりわけ、新都賀山荘のJR守山駅東口における最適な位置については、早期に結論が出せるよう、守山市からJR貨物へ要請し協議を行ってきたところです。

しかしながら、上述の「JR守山駅東口全体の在り方検討」は容積率緩和などの手法の整理やマーケティング調査なども踏まえて、慎重な協議・検討が必要であり、今後少なくとも半年～1年の期間を要するとの結論に至ったことから、新たな候補地をJR守山駅西口側のJR貨物用地とする案が浮上し、協議を行ったところです。

このような中で、一般財団法人 守山野洲市民交流プラザ(以下「一般財団」という)の理事会・評議員会において協議され、これまで施設をご利用いただいた方々や市民の皆さまにご不便やご迷惑をお掛けしている中で、早期に「新都賀山荘」を開館し、福祉文化事業などの公益事業を開始することが不可欠であり、経営面からも施設整備が何より急がれる状況において、西口に低層施設を整備することで、課題であった建築価格の高騰が解消できること、一定の駐車場を確保できること、安定した運営が早期に実現できることから、駅西口用地において整備事業の検討を進めることが望ましいとの結論に至ったところです。

今後につきましては、新都賀山荘の整備が円滑に進むよう、一般財団およびJR貨物・JR西日本と協議を進め、国の補助金活用などについても守山市として支援してまいりたいと考えております。

新都賀山荘の整備に向けたスケジュールにつきましては、基本設計と実施設計を今年度中にまとめ、令和5年度早期に工事着手できるよう一般財団で進めておられます。

一方、駅東口につきましては、今後につきましてもJR貨物など関係機関と「東口全体の在り方検討」について協議を進める中で、ロータリーの在り方、商業施設などの集客施設、企業誘致用地の確保などをしっかりと協議してまいりたいと考えております。

